

HUGコミ

第21号



2014年12月

hug.com

もパートナーズ（東村山市秋津町）／TEL&FAX：050-3510-4587／E-Mail info@npohug.com／URL http://npohug.com

- 「HUGコミ」は、NPO法人HUGこどもパートナーズの広報誌です。
- 私たちは、東村山市でさまざまな子育て支援の活動をしています。「HUGコミ」ではそれらの活動について紹介したり、各事業の報告をしたり、担当者が文章を寄せたりしています。

HUGの活動紹介

 **2カ月の赤ちゃんとおしゃべりTime** 

毎月1回木曜日 10：20～12：00（いきいきプラザ2階）
対象：市内在住の2～4カ月の赤ちゃんとおママ



子育ては不安がいっぱい。

とくにはじめての出産では、里帰り出産や産後フォローの時期が過ぎ、赤ちゃんとお二人きりの生活がはじまると、急に不安や孤独感を感じる人も少なくありません。

「こんな時、どうしたらいいの!」「みんなは、どうしているのかな…」と、迷ったり心配になったりすることもあるし、「おとなとおしゃべりたい!」と、叫びたくなることも…。

この、通称「2カ月ママ」は、2～4カ月の赤ちゃんをもつママどうしの語り合いの場です。出産後の早い時期に、子育て仲間をつくれたり、地域情報に触れたりしてほしいと、東村山市の母子保健担当の保健師さんに協力

してもらい、2008年9月にスタートしました。

毎月40組近くの親子が集まって、簡単なストレッチで身体をほぐしたあとは、赤ちゃんとのコミュニケーションタイム「あやうた」。この時期に親子で心を通わせてゆっくりやっておしゃべりしてほしいわらべうたなどをご紹介します。「赤ちゃんとおママよく目を合わせて、赤ちゃんの気持ちや体のようすをわかってあげてね。赤ちゃんともっと仲良くなってね」という想いを込めています。後半は小さなグループでのおしゃべりの時間です。保健師さんもグループをまわってくれるのでおっぱいのこと、皮膚のこと、予防接種のことなど心配事を直接相談できます。

参加した方からは「近くにママ友ができてうれしい」「同じ月齢のママたちと話せてよかった」「保健師さんに相談できてほっとした」などと好評です。



ファミサポ便り



～10周年記念の集いがありました～

平成16年に東村山市にファミリーサポート事業がスタートして、今年で10年になりました。会員数も1700名を超え、地域での支え合いの輪がひろがっています。節目の年を迎えるにあたり、9月6日にサンパルネにて10周年記念行事を開催しました。当日は2部形式で行われ、1部は白梅学園大学の汐見稔幸先生の講演会があり、ファミサポ発足当時のお話や最近の子育てを取りまく環境と、ファミサポ支援のあり方について、笑いも交えつつ大変興味深いお話を聞くことができました。

2部は会員交流会として、日頃なかなか会うことがない会員の皆様と地域ごとにテーブルを囲み交流を深めました。歴代のアドバイザーも参加してくださり、懐かしい笑顔の輪がひろがりました。手づくりのお菓子の提供や記念撮影など大変和やかな雰囲気では進み、最後は「明日があるさ」のファミサポバージョンの替え歌を全員で合唱しました。声を合わせるとともに気持ちもひとつになり、記念行事を企画したセンターのスタッフも涙ぐんでしまうほど…



♪お集まりいただいた会員さんと♪

改めてファミサポの活動の必要性と、地域で支え合うことの素晴らしさ、会員の皆様への感謝を思い、温かな気持ちになる一日でした。

～提供会員養成講習会が終了しました～

平成26年度の養成講習会が開催され、9日間の講習が10月10日に無事終了しました。講座は毎回、各専門分野の講師の方々から現在の子育てに関する貴重な話をうかがえました。救命の演習や、手作りおもちゃの実習、先輩提供会員さんの体験談を聞ける機会などもあり、もりだくさんの講習会でした。

今年度は21名の方が新人提供会員さんになっています。今後のファミリーサポートの活動により、また新しい支え合いの輪がひろがっていくことなのでしょう!!

雑記報

■もう師走！12月というだけで振り返ったり、来年のことに思いを巡らしたりする時期でもあります。私達が今年、一番感じたことは、「お互いが思いを伝える、受け取る」ことの難しさです。はつきり言葉にしても相手に全然伝わらないこともあれば、そんなつもりじゃないのに違って受け取られてしまったとか、言いたいことが言えない…等、誰しも経験があるのでないでしょうか。コミュニケーションの方法は言葉だけではありませんし、相手がどんな人か、信頼関係がどれくらいあるかによっても違ってきます。ずっと続いていく課題のひとつなのでしよう…。■私達は日々、乳幼児を抱えたお母さん達と関わる事業をしています。子育ての中には否応なく子どもも自分の自分と出会ってしまふことがあります。例えば、忘れていた自分の子どもの頃の思い出が蘇ったり、気がつけば自分の母親とそっくりの口調で叱ついたり…。意識していなくても「育てられたように育てる」という面はあるのかもしれない。そんな自分に出会うと、つい「嫌だな」と封印したくなることがありますが、実はその頃（自分が子どもだった頃の親子関係）に立ち戻って、どういったったのかとひも解くことがとても重要だとある研修の中で聞きました。子育てに限らず、嫌な感情や出来事にはつい蓋をしたくなるのが人間ですが、実はそこに向き合うことが、解放される近道なのかな？と思うこの頃です。■さて、降って湧いたように12月14日には衆議院選挙があります。争点も曖昧で、盛り上がり欠けるのが正直なところですが、棄権だけは、ダメよ！ダメダメというところで、みなさん投票には行きますよう！■今年も自然災害が多かったと思います。被災した皆さんが一日も早く元の生活に戻れますようにと祈りつつ、よいお年を！

ぷくぷくダイアリー



「ぷくぷくの窓のおはなし」

これは、「のぐちちょう子育てひろばぷくぷく」のスタッフが、ひろばでの出来事などをちょこっとお伝えするコーナーです。

ぷくぷくには表の通りがよく見える大きな窓ガラスがあります。車好きの男の子達は目で追ったり、消防車やバスが通ると歓声をあげて窓際に駆け寄ってきます。

また、近所のデイサービスのおばあちゃん達が毎日のように窓の前を通るたびにニコニコと手をふってくれたりガラス越しに手をぴたっとくっつけてタッチしてくれたりもします。

この季節、窓が結露になると、大きなお絵書き用のキャンパスにもなって、ママ達が人気のアンパンマンやクマさんの絵を描いてくれて、子ども達も大喜び。

この大きな窓みたいにながらオープンな利用者ママ達がお互いに失敗談や育児ワンポイントを語っているひろば、ぷくぷくにぜひ寄ってみてね。



のぐちちょう子育てひろば ぷくぷく

東村山市野口町2-4-36 TEL 393-4181
(東村山駅西口より徒歩13分、スーパーカネマンさん斜め向かい)

ママたちが作るミニコミ
「子育て楽しんで？」

トコトコ通信

図解 トコトコ通信印刷日のくじらのおへや

①入り口 ドアに、黄色の布でできた「はぐさろん」といふ目印が貼ってあります。

②保育スペース(フロリングシートの辺り) 毎月3~4名のスタッフが お世話をしてくれます。 ※マークのところに おふとも 用意してあります♪

③折りのスペース トコトコメンバーも お手伝いママも、 丹座でひたすら 紙を折ります。 3才くらいになると、 子どもたちもお運びなど してくれます。

④スタッフの作業場 (主に文具置き場)

水

まど

③の森

こんな感じです。 ぜひ、気軽に遊びに来てね。

カウンタ

↑ ニコニコパネル

くつ入れ

やほい アグラか葉

5カ月の赤ちゃん和妈妈のおしゃべりTime

「2カ月ママ」の後の会はありませんか？
……そんな声がたくさん聞こえてきたことから、「ころころの森」の協力を得て、通称「5カ月ママ」は2010年4月にスタートしました。

いろいろなことに興味を持ち出す5~7カ月の赤ちゃんと、わらべうたでたくさん遊びます。2カ月ママでお友達になったママたちが一緒に参加してくれることもあります。

発達段階にあったわらべうた遊びは、赤ちゃんの成長をうながし、さらに赤ちゃんの遊びの好みや反応のようすから、赤ちゃんの性格が見えてくることも。お気に入りが見つかったら、1つだけでいいので続けてほしい！

赤ちゃんとしっかり目を合わせて心を通わせる時間は、赤ちゃんの心にたっぷり栄養を蓄えてくれるので、そんな時間を大事にしてほしいと願っています。

もちろんママのストレッチ Time も、後半のおしゃべり Time もありますよ~。



毎月第3水曜日(8月、3月は除く) 10:20~12:00
対象: 市内在住の5~7カ月の赤ちゃん和妈妈

2カ月ママ♥赤ちゃん抱っこ隊

ママたちが受付をしたり、身支度をしたり...というとき、赤ちゃんを抱っこしてあげるボランティアさんを募集しています!



『きのう何食べた?』
*現在9巻まで
よしながふみ 著
講談社モーニングKC
581円(税別)

映画化された「大奥」などで知られるよしながふみさんの、知る人ぞ知る作品です。(ま)

職場ではゲイであることをカミングアウトしてないシロさんをめぐって女性たちもかましく、また息子がゲイであることに理解を示そうとしつつも受け入れられない母親との関係ももどかしく、物語は展開していきます。

世の中にグルメ本、レシピ本の類は数あれど、その中でも異彩を放つこのシリーズ。

主人公はイケメン弁護士シロさんと、ちよこなよつとした美容師ケンちゃんのゲイのカップル。2DKのマンションに同居するふたりですが、料理担当のシロさんはやりくり上手で儉約家、ご近所のスーパーのお買得品をたくみに取り合わせ、毎日のおかず作りにかんがりの知恵と労力、愛情をつぎ込んでいきます。



『日本女子大学生の世の中ウォッチ 2011-2014』
是恒香琳 著
パド・ウイメンズ・オフィス
1300円(税別)

ニューズ記事の受け売りやモラルの押しつけではないから、切り口が新鮮。しかも中身は身に覚えのあることがほとんど。なので、いつのまにか「そうそう」と、私も女子大生にもどって共感しちゃってしまいました。こんなに深く見て、潔く断じられる眼力はただものじゃない。(れ)

身の視点「を」投影させながら、冷静な観察で、「ホント」をあぶりだします。たとえば、どんなに男女共同参画が進んでいるようにみえようとも、雇用均等法が根付いたように語られようとも、それはうわつらうでしかないことを彼女は知っています。さらに世の「近頃の学生評」の真実も彼女なりに解き明かします。

現役女子大生のエッセイに期待される「なにか」を見事にスルーし、ばつさりと切つてくれる。痛快本です。著者であるかりんちゃんは、いつも考えています。積み重ねてきた「自分自身の視点」を投影させながら、冷静な観察で、「ホント」をあぶりだします。たとえば、どんなに男女共同参画が進んでいるようにみえようとも、雇用均等法が根付いたように語られようとも、それはうわつらうでしかないことを彼女は知っています。さらに世の「近頃の学生評」の真実も彼女なりに解き明かします。

HUGのスタッフの おすすめ BOOKS